

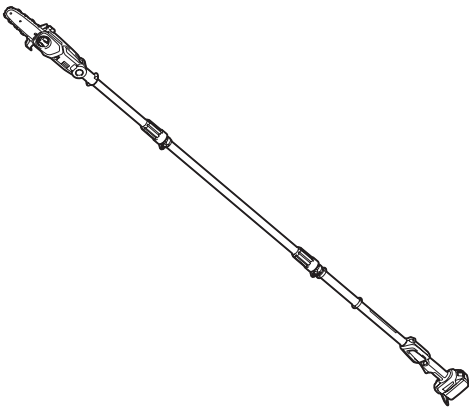
Makita

取扱説明書

200 mm

充電式高枝チェーンソー

モデル MUA200D



このたびは200 mm充電式高枝チェーンソーをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	4
各部名称	15
標準付属品の確認	16
別販売品のご紹介	17
その他	19

ご使用前の準備

組み立て	20
バッテリーの充電	22
バッテリー/充電器の取り扱い	23
使用前に知っておいていただきたいこと	24

使い方

チェーン刃の取り付け/取りはずし方法	25
バッテリーの取り付け/取りはずし方法	32
本製品の操作	33
・ 肩掛けバンドの取り付け方/取りはずし方	33
・ ヘッドの角度調整	36
・ スイッチの操作	37
・ チェーンオイルについて	38
作業方法	39
・ 切断作業	40
・ 樹木のせん定	41
使用後の取り扱い	43
・ 本製品のお手入れ	43
・ 本製品の保管	43

保守/点検

保守	44
消耗品の交換・補充	48
故障かな?と思ったら	49

充電式高枝チェーンソー 保証書……………裏表紙

はじめに

主要機能

本製品

主要機能		モデル	MUA200D
電動機			DC ブラシレスモータ
使用可能バッテリー (別販売品)			リチウムイオンバッテリー
			対応バッテリーの詳細は「別販売品のご紹介」を参照ください。
電圧			直流 18 V
チェーンスピード			6.7 m/s (402 m/min)
チェーン オイル	使用オイル		マキタ純正チェーンオイル
	タンク容量		55 ml
	給油方式		自動
本製品寸法 ※ 1 (長さ×幅×高さ)			1,805 mm / 2,705 mm × 85 mm × 134 mm
質量 ※ 2			3.4 kg

※ 1：チェーン刃、ガイドバー含む。

※ 2：BL1860B、チェーン刃、ガイドバー含む。

チェーン刃

仕様		モデル	MUA200D
形式			80TXL
ピッチ			0.325 インチ
ゲージ			1.1 mm
ドライブリンク数			38 枚

ガイドバー

仕様	モデル	MUA200D
	形式	スプロケットノーズ
	長さ (有効切断長さ)	200 mm (185 mm)
	ゲージ	1.1 mm

1 回の充電での作業量 (参考値)

- ・ 数値は参考値です。
- ・ 数値は材料の状態、チェーン刃の状態により異なります。

使用バッテリー	材料	切断量
BL1860B	杉角材 (50 mm × 50 mm)	約 600 本

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）の電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

充電式製品共通の安全上のご注意

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
4. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・ 特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
5. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本製品に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本製品に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 本製品を無理に押しつせず、常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。
8. 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているためやけどの恐れがあります。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。
 - ・ 本製品の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの先端工具や付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 充電工具から離れるとき
 - ・ 本製品の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本製品の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを差し込むと事故につながります。

⚠ 警告

2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・本製品または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・バッテリーを周囲温度が 50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発熱、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発熱の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
 - ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。
16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。やけど、低温やけどの原因になるため注意してください。
17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。
 - ・ 異常発熱によりやけどをしたり、発火、破裂または、作動不良によりけがに至る恐れがあります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
 - ・ 本製品、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 - ・ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用した本製品の保守・点検・修理は受付できません。

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - ・ 本製品やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ スイッチを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

⚠ 警告

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
 - ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
 - ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリーや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
 - ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

⚠ 警告

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。
 - ・ 誤動作や故障する恐れがあります。
12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
 - ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

● 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式高枝チェーンソー安全上のご注意

先に充電工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式高枝チェーンソーとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 本製品を雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。
 - ・ 故障や感電、けがの原因になります。
2. 本製品は右手でリヤグリップ、左手でフロントグリップを確実に保持し、体重が両足にかかるように適度に足を開いて使用してください。その際、グリップ部は常に乾いた状態にし、手が滑らないようにしてください。
 - ・ 確実に保持していないと、作業中にバランスを失い、けがをする恐れがあります。
3. チェーン刃は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
 - ・ 誤った取り付け方をしますと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。
4. ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
 - ・ 本製品がはね返り（キックバック）けがの原因になります。
5. 使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部、切りくずなどに手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および急傾斜地では使用しないでください。また、ハシゴに乗っての作業や、木に登っての作業など不安定な場所では使用しないでください。
 - ・ 転倒してけがの原因になります。
7. 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、チェーン刃、ガイドバーや本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
9. バッテリアダプタの使用時は、コードが足や障害物に引っかからないように注意してください。
 - ・ コードが引っかかると、けがの原因になります。
10. 作業中は常にヘルメット、手袋、保護メガネ、耳栓を着用し、履物は滑りにくい安全ぐつを着用してください。
 - ・ けがの原因になります。
11. チェーン刃は、正しく目立てしてください。
 - ・ 特にデブスゲージの寸法が大きくなりすぎますと、本製品のはね返り（キックバック）発生の危険性が高くなります。
12. 肩掛けバンドは取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
13. 切断した枝の落ちる方向に十分注意してください。
 - ・ 枝が落ちてきて思わぬけがをすることがあります。

⚠ 警告

14. ガイドバー、チェーン刃の取り付け、チェーンオイルの自動給油量を調整（調整機構がある場合）するときは、必ず本製品の電源を切り、バッテリーを取りはずしてから行ってください。
- ・ 電源が入ったままですと、不意にチェーン刃が回りだすなどして事故の原因になります。

15. ガソリン、ガス、塗料、接着剤など引火性のある物の近くでは、使用しないでください。
- ・ 火災の恐れがあります。
16. 延長パイプの取り付けは1本までです。2本以上は取り付けないでください。
- ・ 制御が効かなくなり、けがの原因になります。

⚠ 注意

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 使用しないときは、バッテリーをはずしてガイドバーにカバーをして刃物がむき出しにならないようにした後、お子様の手の届かない所に保管してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ けがの原因になります。 2. スイッチを入れるとき、チェーン刃が材料やほかのものに当たっていないことを確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品が引っ張られたり戻されたりして、けがの原因になります。 3. 枝を下側から切り上げていきますと、枝の重みで切り口が狭まり、チェーン刃が枝に挟まれて取れなくなります。また、下側に切り込みを入れずに上側から枝を切断すると、裂けて仕上がりが悪くなります。 4. チェーンカバーが取り付けいた状態で本製品を起動しないでください。 5. 本製品を作動させたまま床などに放置しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故の原因になります。 6. 寒いときの休憩や昼食時には暖をとって、身体の保温に心がけてください。 7. チェーン刃を取り扱うときは、手袋を着用してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ けがの原因になります。 | <ol style="list-style-type: none"> 8. 使用中は半径 15 m以内に他の人や動物などを近づけないでください。また 2人以上で作業を行うときは、お互いに 15 m以上の間隔を取り、監督者を置いてください。使用中、15 m以内に他の人や動物などが近づいた場合は、直ちにスイッチを切り作業を中止して注意をうながしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不用意に他の人や動物などを近づけると、飛散物が当たるなど思わぬ事故の原因になります。 9. 本製品には感電防止の絶縁処理はなされていません。感電の恐れがありますので電線から 15 m以上離れて作業してください。 10. チェーン刃は、常に良い切れ味で使用してください。切れ味の悪くなったチェーン刃は目立て、または交換をしてください。 11. 風窓を手でふさいで使用しないでください。右手はリヤグリップ、左手はフロントグリップ、それぞれ両手でしっかりと握ってください。作業はパイプの傾きが 60°以下になるように保持してください。 |
|---|---|

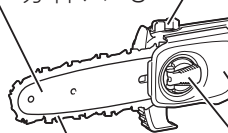
各部名称



ヘッド部

オイルタンクキャップ

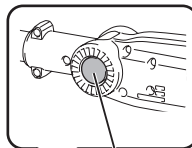
ガイドバー8



チェーン刃

スプロケットカバー

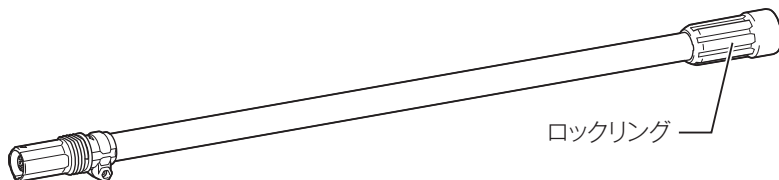
レバー



ヘッド角度調整ボタン

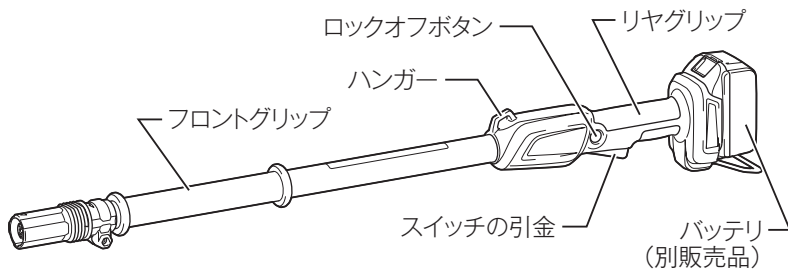
ロックリング

延長パイプ



ロックリング

ハンドル部



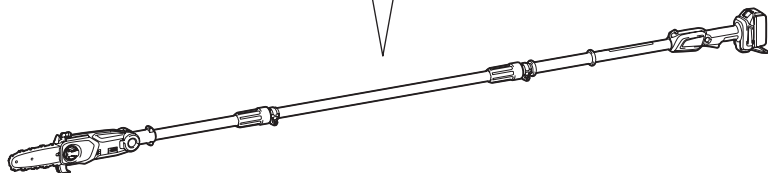
ロックオフボタン

リヤグリップ

ハンガー

フロントグリップ

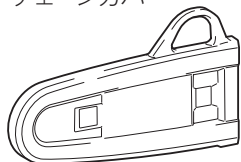
スイッチの引金

バッテリー
(別販売品)

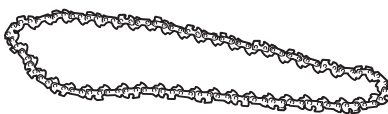
標準付属品の確認

標準付属品	モデル	MUA200DZ
バッテリー		×
充電器		×
チェーンカバー		○
チェーン刃		○
肩掛けバンド		○
ガイドバー		○
チェーンオイル		○

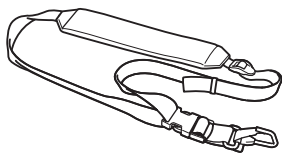
・チェーンカバー



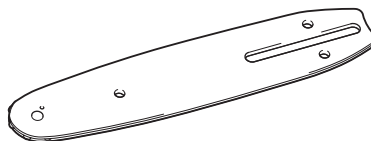
・チェーン刃



・肩掛けバンド



・ガイドバー



・チェーンオイル



別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ 肩掛けバンド
部品番号：122D94-0
- ・ チェーン刃 80TXL-38E
部品番号：A-72746
- ・ ガイドバー（200 mm スプロケットノーズ）
部品番号：A-73330
- ・ ガイドバーケース 210
部品番号：413G28-5
- ・ チェーンオイル（1 L）
部品番号：A-58300
- ・ 丸型ヤスリ 4（ハンドルなし）
部品番号：A-77942
- ・ ハンドル
部品番号：A-78003
※ハンドルなしタイプの丸ヤスリ用

バッテリー、充電器およびその他アダプタ類

品目	品名	部品番号
使用可能バッテリー (容量)	BL1815N (1.5 Ah)	A-60311
	BL1820B (2.0 Ah)	A-61715
	BL1830B (3.0 Ah)	A-60442
	BL1850B (5.0 Ah)	A-59900
	BL1860B (6.0 Ah)	A-60464
対応充電器	DC18RC (急速充電器)	JPADC18RC
	DC18RD (2口急速充電器)	JPADC18RD
	DC18RF (急速充電器)	JPADC18RF
	DC18SD (充電器)	JPADC18SD
	DC18SF (4口充電器)	JPADC18SF
	DC18SH (2口充電器)	JPADC18SH
	DC18WC (充電器)	JPADC18WC
その他アダプタ類	PDC01 ※	A-69098

※：別途 18 V バッテリが必要です。

⚠ 警告

ポータブル電源ユニットなどの背負い式電源装置と組み合わせて使用する場合は、組み合わせ推奨の吊り下げバンドを使用し、本製品に付属の肩掛けバンドを使用しないでください。組み合わせ推奨の吊り下げバンドについては、当社カタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所にお問い合わせください。

- ・ 本製品の肩掛けバンドと背負い式電源装置のハーネスを重ねて着用すると、緊急時にポータブル電源ユニットなどの背負い式電源装置や、本製品を身体からはずすことが困難となり、事故やけがの原因となる恐れがあります。

その他

シンボルマークについて

- 製品および取扱説明書にシンボルマークを記載しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。



ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。



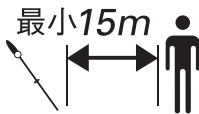
保護メガネ、耳栓、保護帽などの保護具を着用してください。



防振性のよい手袋、安全靴などの保護具を着用してください。



電線から 15 m 以内に近づかないでください。



使用中は 15 m 以内に他の人や動物などを近づけないでください。

ご使用前の準備

組み立て

本製品の組み立て方

⚠ 警告

組み立てる前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。また、バッテリーをはずしてください。

チェーン刃には素手で触れないでください。
チェーン刃を触る場合には手袋をしてください。

⚠ 注意

ヘッド部、延長パイプ、ハンドル部を接続する際は、本製品を置いた状態で行ってください。

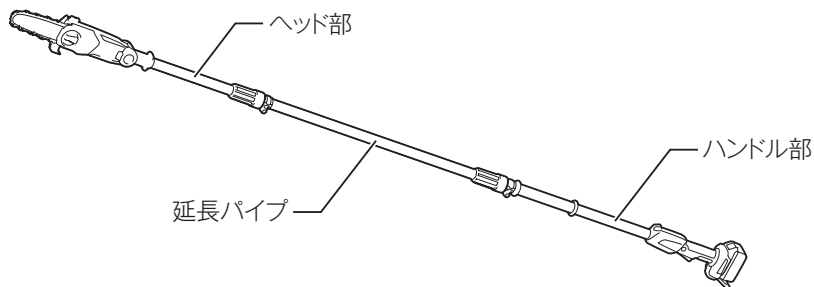
- ・ 本製品を立てた状態で接続すると、倒れて周囲の物や人に当たり、事故やけがの原因になります。

ロックリングは最後までしっかりと締めてください。

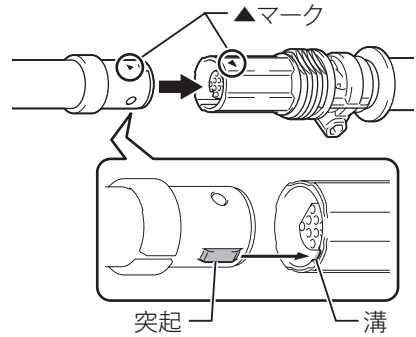
- ・ はずれてけがをする恐れがあります。

■ ヘッド部、延長パイプ、ハンドル部を接続する

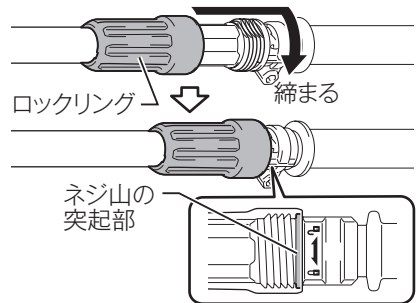
ヘッド部、延長パイプ、ハンドル部を接続します。



- ▲マークを合わせて挿し込みます。
 - 突起が溝に入ります。

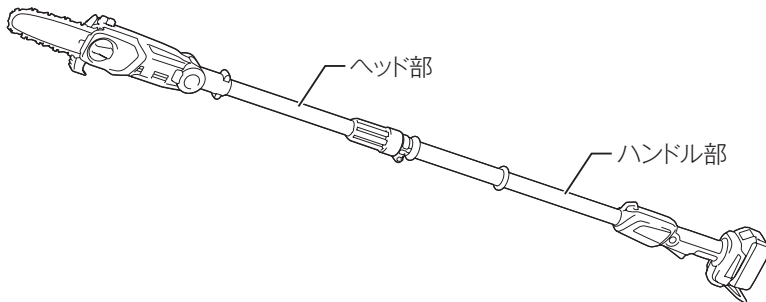


- ロックリングを図の向きに回して締めます。
 - ロックリングは、ネジ山の突起部が見えなくなるまでしっかりと締めてください。



■ 短くして使用する（延長パイプを接続しない）

ヘッド部とハンドル部は直接接続することができます。



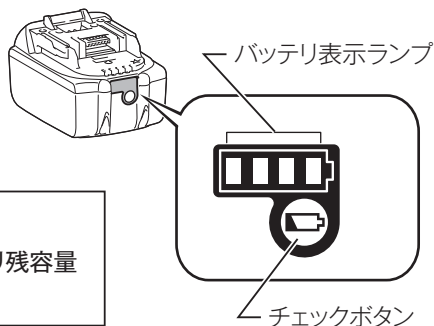
バッテリーの充電

- ・ バッテリーは別販売品です。

バッテリー残容量表示

モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 ▨:点滅 □:消灯	
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
▨ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ □ □ ■ ■ ↓ ↑	バッテリーの異常です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
- ・ バッテリー保護機能が働いた際は、左端のバッテリー表示ランプが点滅します。

バッテリーの充電方法

お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

バッテリー／充電器の取り扱い

- ・ バッテリー、充電器は別販売品です。

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やホコリから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

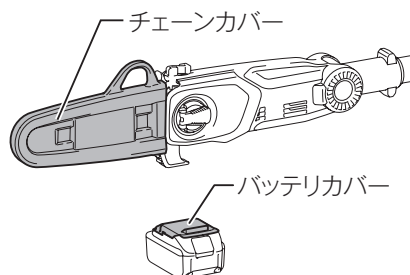
充電器の点検・修理・保管方法

お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って実施してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

充電式高枝チェーンソーの持ち運び方

- ・必ずバッテリーをはずしてチェーンカバーをガイドバーにかぶせ、パイプを縮めてください。
- ・バッテリーにはバッテリーカバーをはめてください。
- ・持ち運ぶ際には、スイッチの引金に指をかけないでください。



本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモーターが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能
<ul style="list-style-type: none"> ・本製品またはバッテリーの温度が高温になるとモーターが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> ・使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷ましてください。冷却ファン付きの充電器をご使用の場合は、充電することにより、バッテリーが冷却されます。 ・バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
<ul style="list-style-type: none"> ・バッテリーの容量が少なくなるとモーターが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> ・本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・本製品が過負荷状態になるとモーターが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> ・いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

- ・上記以外の症状で停止した場合、「故障かな?と思ったら」(49ページ参照)に従って点検してください。

電気ブレーキ機能

- ・スイッチの引金を放すと、電氣的に回転を止めます。ただし、バッテリーの残容量が無くなった場合、スイッチを入れたままバッテリーを抜いた場合は、ブレーキ機能は作動しません。また、バッテリーの残容量がある場合で、スイッチの引金を放しても本製品がすぐに停止しない状態が続く場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

使い方

チェーン刃の取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切り本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

チェーン刃は、長時間使用するとゆるむことがありますので、チェーン刃の調整をこまめに行ってください。

- ・ 張りがゆるいと、ガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になりますので、使用前にチェーン刃の張りを点検してください。

⚠ 注意

チェーン刃の調整およびチェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、必ず手袋をはめて行ってください。

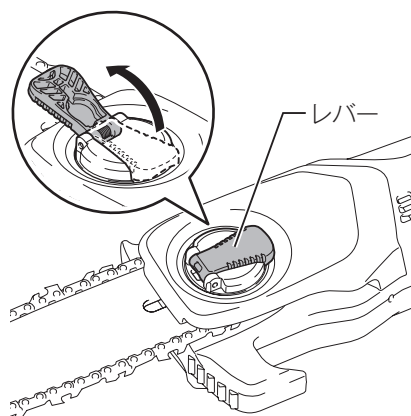
- ・ けがの原因になります。

使用直後のチェーン刃、ガイドバーは高温になります。チェーン刃の取り付け、取りはずしは、十分に冷ましてから行ってください。

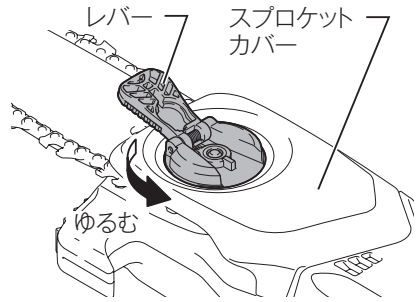
チェーン刃の取り付け、取りはずしは、切断くずなどのないきれいな場所で行ってください。

チェーン刃の調整

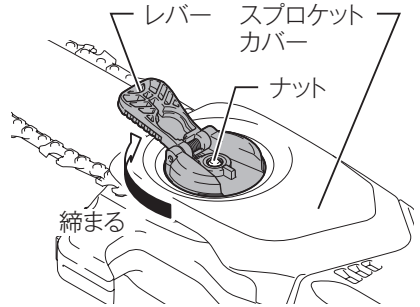
1. レバーをロックする位置まで起こします。



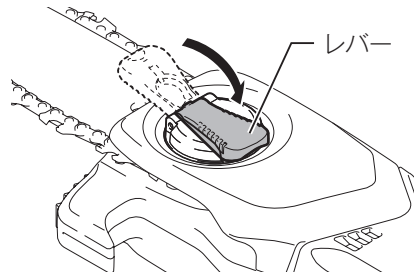
2. レバーを図に示した方向に回して、スプロケットカバーを軽くゆるめます。
 - ・ チェーン刃の張りが自動的に調整されます。



3. レバーを図の方向に回してナットをしっかりと締め付け、スプロケットカバーを固定します。



4. レバーを元の位置へ倒します。

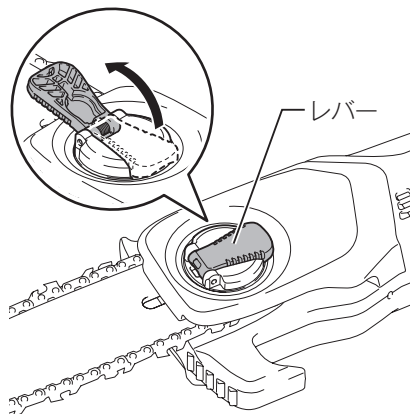


注

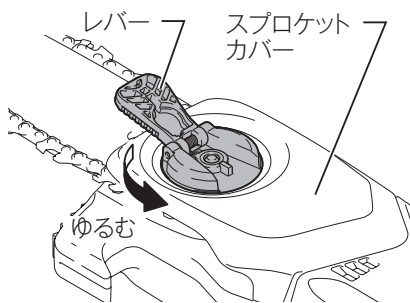
- ・ チェーン刃が新しいときは伸びやすいので、チェーン刃の調整をこまめに行ってください。
- ・ チェーン刃の張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。

チェーン刃の取りはずし方

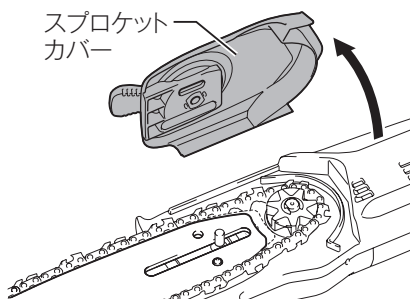
1. レバーをロックする位置まで起こします。



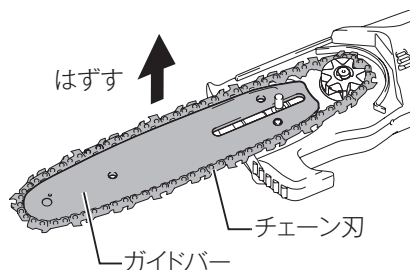
2. レバーを図に示した方向に回して、スプロケットカバーがはずれるまでレバーをゆるめます。



3. スプロケットカバーをはずします。

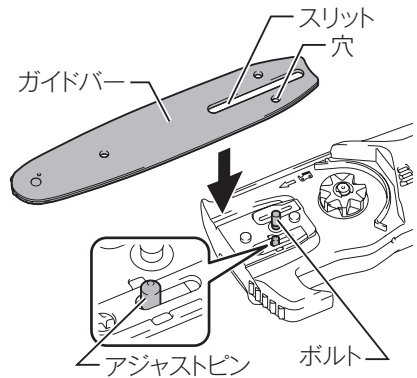


4. チェーン刃とガイドバーを持ち上げ、本製品より取りはずします。

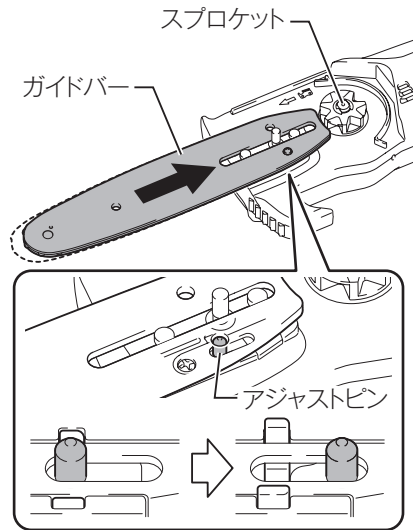


チェーン刃の取り付け方

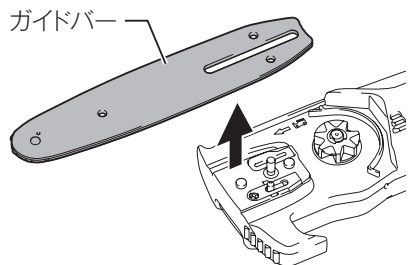
1. スプロケットカバーが取り付けられている場合は、チェーン刃の取りはずし方の手順1～3を参照してください。
2. ガイドバーのスリットと本製品のボルト、ガイドバーの穴と本製品のアジャストピンを合わせて、図のようにガイドバーをセットします。



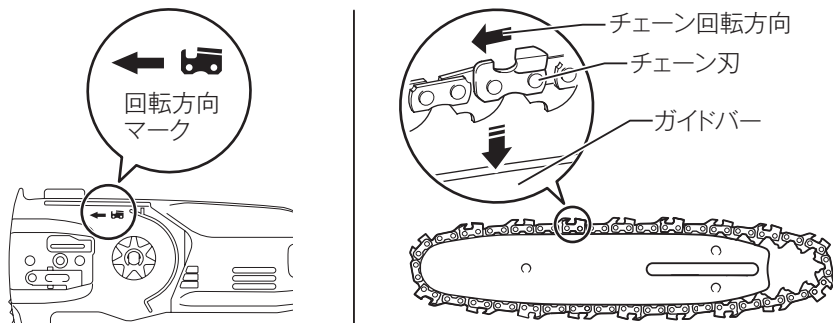
3. ガイドバーをスプロケット側にスライドさせ、アジャストピンをロックします。



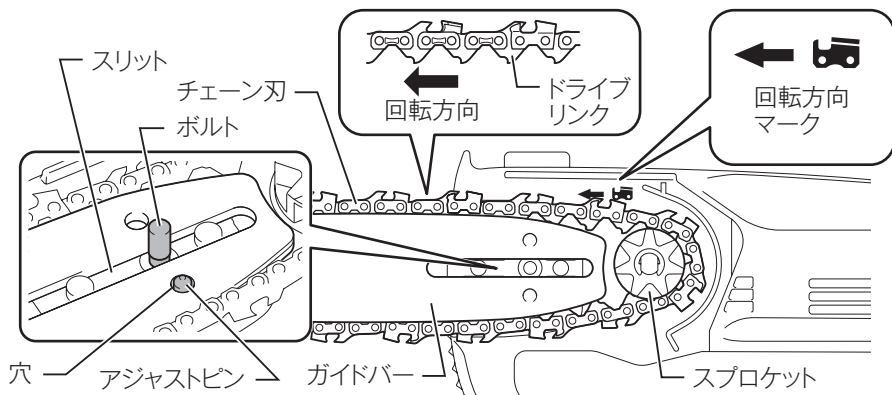
4. ガイドバーを本製品から取りはずします。



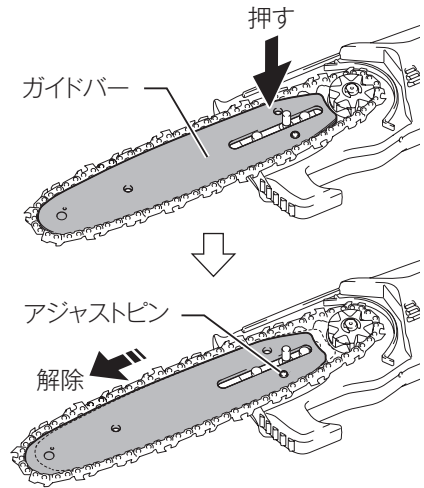
5. ガイドバー外周の溝にそって、チェーン刃をガイドバーに取り付けます。
- チェーン刃は、本製品にあるチェーンの回転方向を示すマークの向きに回転します。チェーン回転方向に、チェーン刃の向きを合わせて、ガイドバーに取り付けてください。



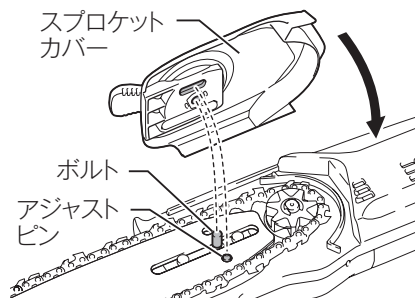
6. チェーン刃をスプロケットにかけながら、ガイドバーのスリットと本製品のボルト、ガイドバーの穴と本製品のアジャストピンを合わせて本製品にセットします。
- 回転方向を示すマークの向きに、チェーン刃の向きがあっているか確認してください。
 - チェーン刃のドライブリンクがスプロケットの上に正しく乗っているか、チェーン刃がガイドバーの溝にきちんと入っているかを確認してください。



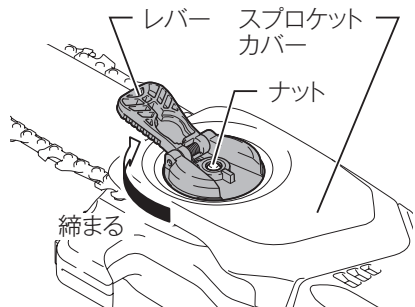
7. ガイドバーを本製品に押し当てると、手順3でロックしたアジャストピンが解除されます。



8. スプロケットカバーを本製品のボルトとアジャストピンの穴に合わせてかぶせます。

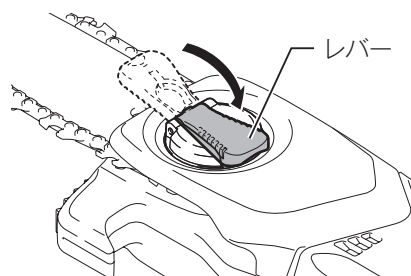


9. レバーを図の方向に回してナットをしっかりと締め付け、スプロケットカバーを固定します。



10. レバーを元の位置へ倒します。

- チェーン刃にたるみがないこと、およびチェーン刃を前後にスムーズに動かせることを確認してください。必要に応じて、25 ページ「チェーン刃の調整」を参照して、チェーン刃の張りを調整してください。



注

- ガイドバーは両面使用できます。ガイドバーのかたよった摩耗を防ぐため、新品のチェーン刃に取り替えるたびに、ガイドバーを反転してご使用ください。
- チェーン刃の取り付け、取りはずしの際は、切りくずなどが無い、きれいな場所で行ってください。
- チェーン刃が新しいときは伸びやすいので、チェーン刃の調整をこまめに行ってください。
- チェーン刃の張り方がゆるいときは、チェーン刃がガイドバーからはずれる原因となります。

バッテリーの取り付け／取りはずし方法

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

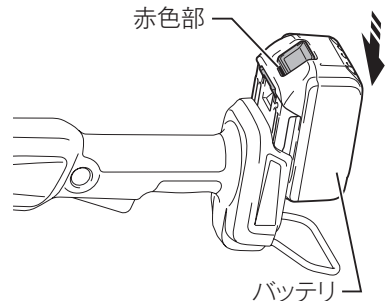
- ・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

雨の中でバッテリーの着脱をしないでください。

- ・ 感電する恐れがあります。

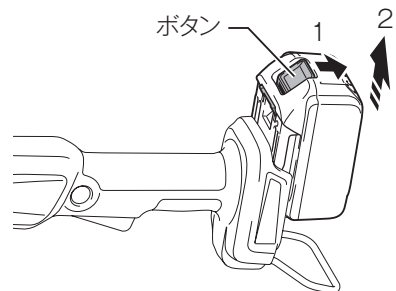
取り付け方

- ・ バッテリーを本製品の溝に合わせ、赤色部分が見えなくなるまで差し込みます。



取りはずし方

- ・ バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。



本製品の操作

肩掛けバンドの取り付け方／取りはずし方

⚠ 警告

肩掛けバンドを確実に取り付けから使用してください。

必ず専用の肩掛けバンドを着用してください。

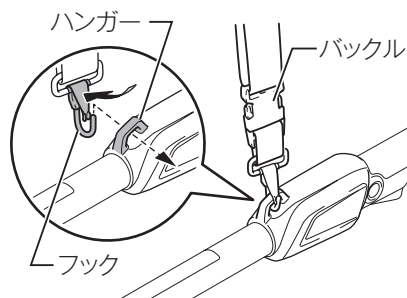
- ・ 肩掛けバンドを取りはずして作業するとけがの原因になります。

■ 取り付け方

1. 左肩に肩掛けバンドを着用します。



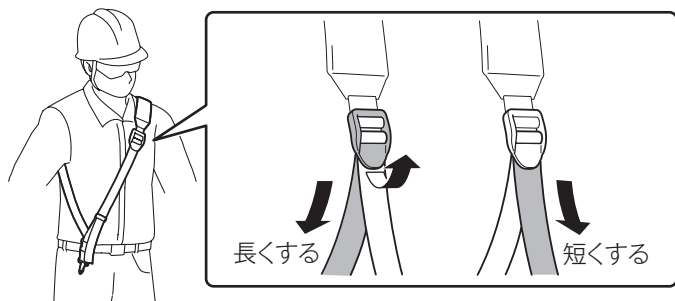
2. 肩掛けバンドのフックを、本製品のハンガーに取り付けます。



注

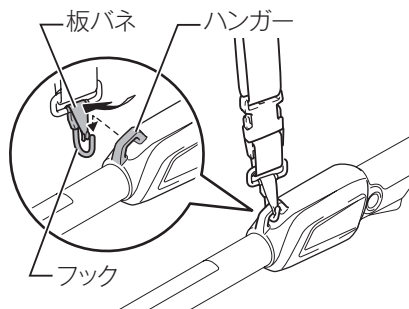
- ・ フックおよびバックルを引いて抜けないことを確認してください。

3. バンドの長さを変更して、本製品が使いやすい位置にくるように調整します。



■ 取りはずし方（通常離脱）

- ・ 本製品のハンガーからフックの板バネを押しながらはずします。



■ 取りはずし方（緊急離脱）

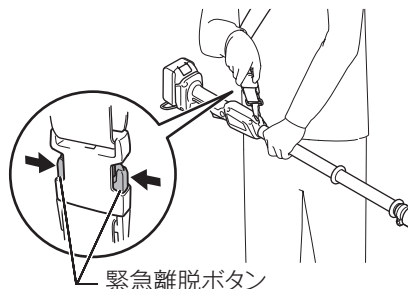
⚠ 警告

緊急時に離脱する際は、本製品の保持に細心の注意を払ってください。

- ・ 本製品のコントロールを失うと、作業者自身または第三者が死亡あるいは重傷を負う可能性があります。

離脱ボタンを使って本製品を離脱する場合は、必ず手で本製品を支えながらボタンを操作してください。

- ・ 本製品を支えずに離脱すると本製品が落下します。
- ・ 緊急時、緊急離脱ボタンを両側から押すと、本製品を身体から離脱できます。
- ・ 左手で本製品を保持したまま、右手でバックルの緊急離脱ボタンを両側から押します。
- ・ バックルがはずれ、本製品を肩掛けバンドから、離脱することができます。



ヘッドの角度調整

⚠ 注意

ヘッドの角度を調整する際には、必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

ヘッドの角度を調整する際には、あらかじめブレードカバーを取り付けてください。

- ・ けがの原因になります。

ヘッドとパイプの間に指を挟まないように注意してください。

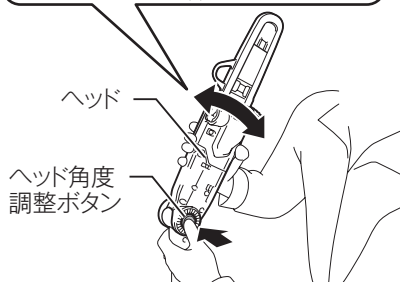
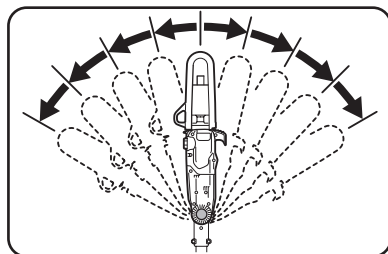
- ・ けがの原因になります。

ヘッドの角度を調整する際には、ヘッドをしっかりと持ってください。

- ・ 手を離すとけがの原因になる恐れがあります。

ヘッドの角度は、9段階に設定できます。次の手順に従ってください。

1. 図のようにヘッドとヘッド角度調整ボタンを持ちます。
2. ヘッド角度調整ボタンを押しながら、ヘッドをお好みの角度に調整します。
3. ヘッド角度調整ボタンを放し、ヘッド角度調整ボタンが元の高さに戻っていることを確認します。
4. ヘッド角度調整ボタンが元の位置に戻らない場合、ヘッドをわずかに動かし、定位置にカチッと合めます。



注

- ・ ご使用の前に、ヘッドが確実に固定されていることを確認してください。

スイッチの操作

⚠ 警告

本製品にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと事故の原因になります。

スイッチの引金、ロックオフボタンに異常がないか点検してください。もし異常がある場合は使用せず、修理をお申し付けください。

- ・ スイッチの引金を操作しても始動および停止ができない場合は異常です。
- ・ 本製品はロックオフボタンを押すことでスイッチの引金を引ける状態になりますが、ロックオフボタンを押していない状態で、スイッチの引金を引ける場合は異常です。

ロックオフボタンをテープなどで固定するような使い方をしないでください。

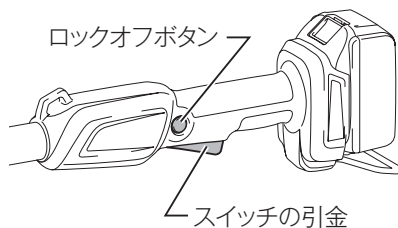
- ・ 事故の原因になります。

⚠ 注意

ロックオフボタンを押さずに、スイッチの引金を無理に引かないでください。

- ・ 故障の原因になります。

- ・ スイッチは、ロックオフボタンを押した状態でスイッチの引金を引くと入り、放すと切れます。



チェーンオイルについて

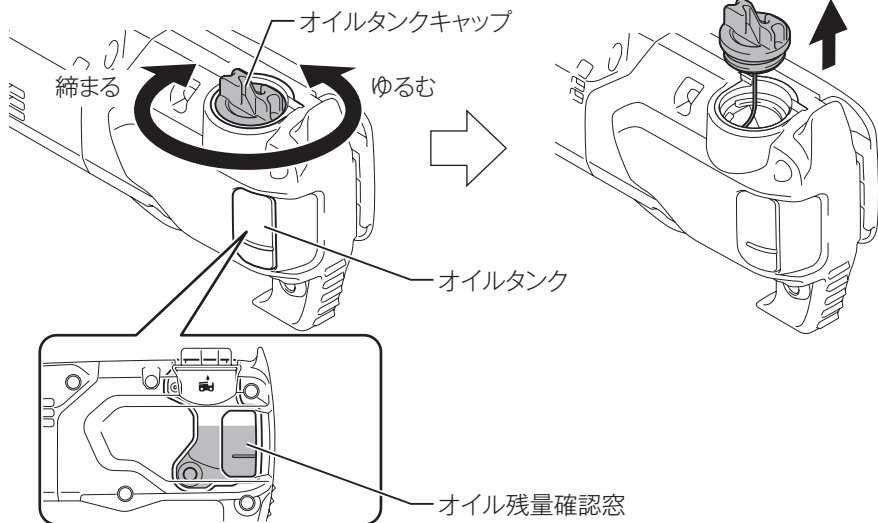
⚠ 注意

お使いになるときは、オイルタンクにチェーンオイルを入れてください。

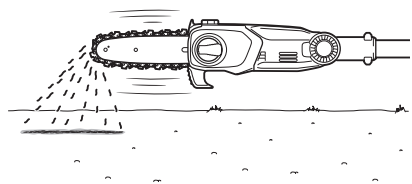
チェーンオイルは、マキタ純正チェーンオイルまたは市販の専用チェーンオイルをお使いください。

ゴミなどの混入したオイルおよび揮発性のオイルは絶対使用しないでください。

- ・ 使用前に必ずオイルタンクにチェーンオイルを入れてください。
- ・ 作業中もオイルタンク内のチェーンオイル残量を確認し、少ない場合は補充してください。
- ・ チェーンオイルの補充はオイルタンクキャップを取りはずして入れます。容量は約 55 ml です。



- ・ 補充後はキャップを元通りにしっかりと閉じます。
- ・ 補充後、木から離れた状態で本製品のスイッチを入れ、チェーン刃にオイルが適切に行き渡るまで動作させます。
- ・ チェーンオイルはチェーンソーを運転すると自動的に給油されます。



作業方法

⚠ 警告

使用中は、チェーン刃、ガイドバーや回転部、切りくずなどに手や顔などを近づけないでください。

- ・ けがの原因になります。

使用中は、右手でリヤグリップ、左手でフロントグリップを確実に保持してください。

- ・ けがの原因になります。

ハシゴや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。

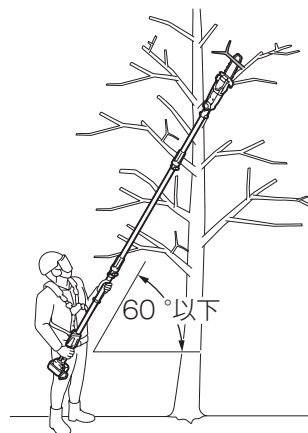
- ・ けがの原因になります。

切断する枝の真下付近には決して立たないでください。真下に落ちることもありますし、他の枝や地面にはね返って思わぬ方向に落ち、作業者に当たってけがをする恐れがあります。

周りの人は 15 m 以内には近づけないようにしてください。

本製品は、絶縁されたグリップ面のみで保持してください。本製品が高電圧線に接触したり近づいたりすると、重症あるいは、致命傷を負う恐れがあります。本製品と高電圧線間は常に最低 15 m 空け、どんな物体も電圧線に触れないように注意してください。この安全距離内で作業する場合は、必ず電力会社に連絡して作業前に電力を切ってください。

作業はパイプの傾きが 60° 以下になる位置に立って行ってください。

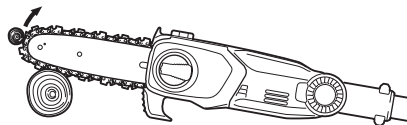
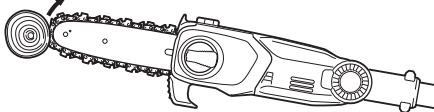


落ちてきた枝が作業者のほうに落ちる場合もありますので、足場のしっかりした、もしもの場合に逃げやすい場所に立ってください。

⚠ 警告

ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。

- ・ 本製品がはね返り（キックバック）、けがの原因になります。



作業時には帽子またはヘルメット、防護メガネ、防振手袋、耳栓、安全ぐつ、長そで、長ズボン、さらに粉じんや切粉が多く健康を害する恐れがある場合には防じんマスクを着用してください。

切断作業

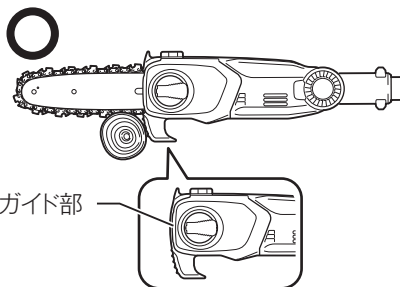
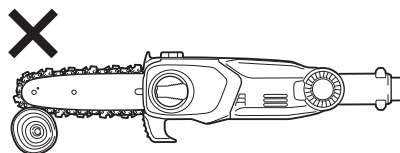
- ・ 本製品を動かし、チェーン刃を軽く枝に押し当てて切ります。
- ・ 回転数が低い状態で枝に強く押し当てて作業すると切断能力が落ちます。

注

- ・ チェーン刃を枝に強く押し付けて切ると、疲れるばかりでなく、チェーン刃やガイドバーの摩耗を早めます。
- ・ チェーン刃を枝に強く押し付けないと切れない場合は、切れ味が低下していますので研ぎなおすか、新品のチェーン刃と交換してください。
- ・ 切断作業終了時は本製品が枝に支えられなくなるため、制御するために本製品を両手で支える必要があります。

樹木のせん定

- ・ ガイド部に枝を軽く押し付け、チェーン刃を枝より離して製品を動かして枝を切断します。
- ・ 枝が落ちやすいように下の枝から順に切断してください。



注

- ・ ガイド部に枝が接していないと本製品がガイド側に引っ張られ、刃先がブレますので注意してください。

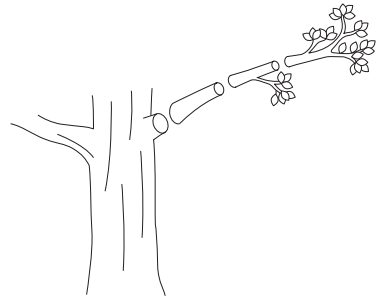
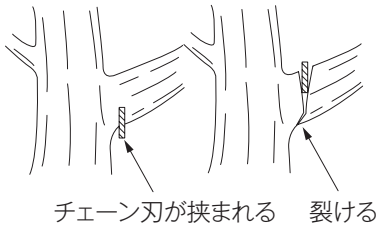
- ・ 太い枝をせん定するときは、①枝の下側に切り込みを入れてから、②上から枝を切断します。



注

- ・ 枝を下側から切り上げていきますと、枝の重みで切り口が狭まり、チェーン刃が枝に挟まれて取れなくなります。また、下側に切り込みを入れずに上側から枝を切断すると、裂けて仕上がり面が悪くなります。
- ・ 切断した枝の落下位置を制御しやすくするために、長い枝は先端から短く分けて切断してください。

下側からの切断 上側からの切断



使用後の取り扱い

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

本製品の保管

警告

保管の際には必ずスイッチを切り、本製品よりバッテリーを抜いてチェーンカバーを取り付けてください。

- ・ スプロケットカバーを取りはずし、本製品に付着した切りくずを除去してください。
- ・ チェーン刃、ガイドバーを取り付け、しばらく空転させ、チェーン刃、ガイドバーにオイルを付着させてください。
- ・ チェーンカバーをガイドバーにかぶせてください。
- ・ オイルタンク内のオイルを抜いてタンク内を空にしてください。

⚠ 警告

保守、点検の際には必ずスイッチを切り、バッテリーを本製品から抜いてください。

- ・ バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

保守、点検の際には必ず手袋をはめて行ってください。

- ・ チェーン刃に手が触れ、けがの原因になります。

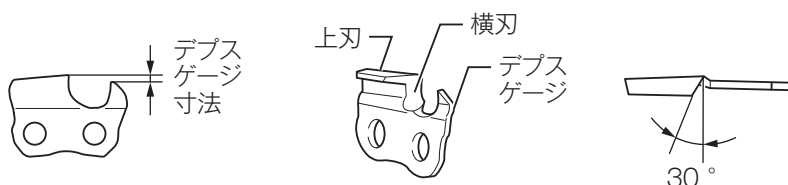
保守

上刃および横刃の目立て

⚠ 警告

チェーン刃は正しく目立てしてください。

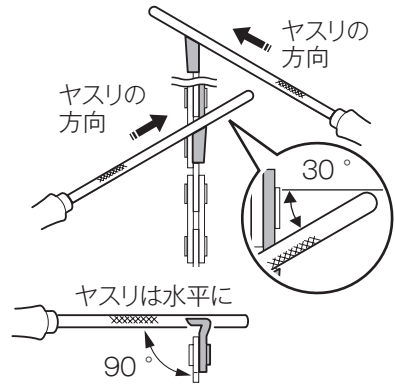
- ・ 特にデプスゲージ寸法が大きくなりすぎますと、チェーン刃が切断しやすくなり、けがの原因になります。



1. ガイドバーに対して丸ヤスリを30°傾け、丸ヤスリの直径の1/5が上刃より出るようにチェーン刃に当てます。



- 丸ヤスリの水平を保って、押すときだけヤスリをかけ、手前に引くときは刃部にヤスリを当てないようにして、上刃および横刃の目立てをします。

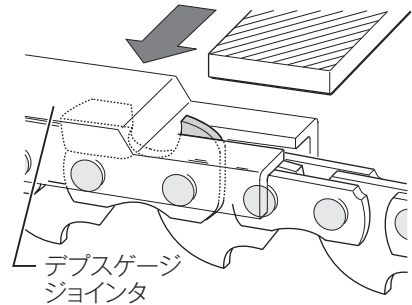


注

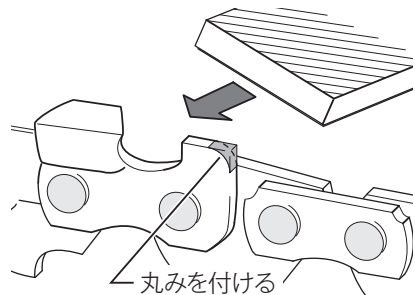
- 刃部の目立てには、外径が 4 mm（呼び 5/32 ʹ）の目立て専用丸ヤスリを使用してください。

デプスゲージの調整方法

- デプスゲージはチェーン刃の切り込みしろを適正（0.64 mm）に保つためのものです。
- 別販売品のデプスゲージジョインタを図のようにセットし、溝から出た部分を平ヤスリで削り落とします。

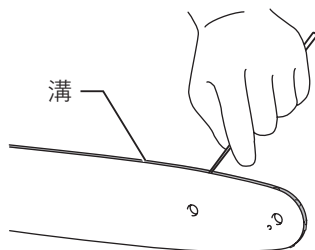


- デプスゲージの角に丸みを付けます。
- デプスゲージの調整が終わりましたら、オイルに浸して切り粉を洗い落とします。



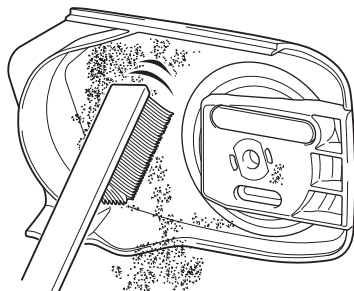
ガイドバーの清掃

- ・ ご使用中に、切りくずがガイドバーにつまることがあります。切りくずがガイドバーの溝につまると、チェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなります。チェーン刃を目立てや交換するときに、ガイドバーの溝に入った切りくずを除去してください。



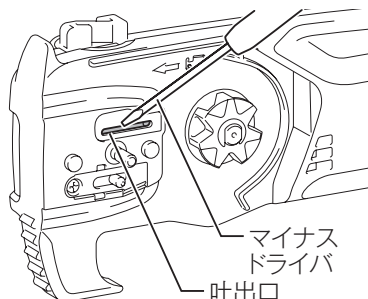
スプロケットカバーの清掃

- ・ スプロケットカバーの内側に、切りくずがたまります。負荷が高くなる原因になりますので、ブラシなどで切りくずを除去してください。



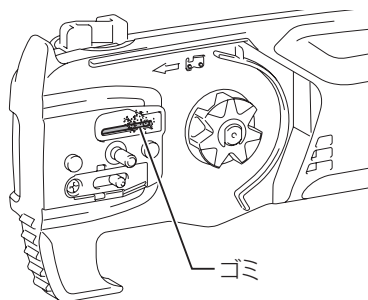
オイル吐出口の清掃

- ・ ご使用中に細かなゴミが吐出口につまることがあります。
- ・ ゴミが吐出口につまるとチェーンオイルの吐出量が少なくなりチェーンオイルがチェーン刃全体に行き渡らなくなる恐れがあります。
- ・ マイナスドライバの先端などで吐出口のゴミを取り除いてください。



- ・ ガイドバー先端からのチェーンオイルの吐出が少なくなった場合は下記手順で吐出口の清掃をしてください。

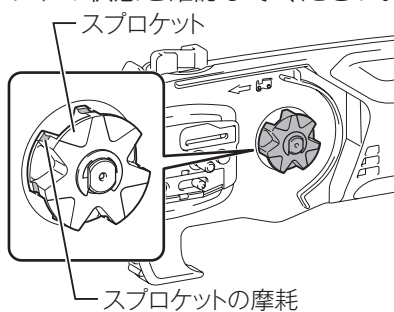
1. バッテリーを本製品から抜きます。
2. スプロケットカバー、チェーン刃を取りはずします (27 ページ「チェーン刃の取りはずし方」参照)。
3. バッテリーを本製品に差し込みます。
4. スイッチの引金を引いて本製品のオイル吐出口にたまっている細かなゴミをチェーンオイルで洗い流します。
5. バッテリーを本製品から抜きます。
6. スプロケットカバーとチェーン刃を本製品に取り付けます。



消耗品の交換・補充

スプロケットの交換

- ・ チェーン刃を交換するときにはスプロケットの状態を確認してください。
- ・ スプロケットの状態がイラストのように摩耗している場合、スプロケットの新品交換を当社営業所にお申し付けください。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※1 が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

チェーンオイルの量を確認して足りない場合は補充してください。※2

↓ 解消しない

チェーン刃の張りを調整してください。※3

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※ 1 保護機能については 24 ページ参照。

※ 2 チェーンオイルについては 38 ページ参照。

※ 3 チェーン刃の調整については 25 ページ参照。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881K54B0

CRE